



輝き

Kagayaki

協働!感動!躍動!

きょうどう かんどう やくどう

いきいきと輝くまち・三鷹

Vol.15

2017年11月3日発行

【発行者】 清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Fax.0422-71-0150

「ウェルカム ベビー プロジェクト みたか」を推進しています

三鷹市長 清原慶子

近年、少子化・核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化などにより、子どもと触れ合う経験もないまま、また、身近な相談相手もない環境でわが子を産み育てることになるご家庭が増えています。私は娘夫婦と同居し、二人の孫の日々の成長を身近にみっていますが、子育てには、地域で気軽に専門的な支援を受けられる必要性を痛感しています。

三鷹市では、これまでもいきいきと子どもが輝く「子ども・子育て支援のまちづくり」を進めていますが、こうした状況を踏まえて、平成28年度からは、さらに一歩踏み込んだ取り組みを始めています。三鷹市が展開する出産・子育て支援に関する全ての事業を「ウェルカム ベビー プロジェクト みたか」という名称のもとに位置付けて、市全体で子育て世代への積極的な支援に努めるとともに、平成28年度から「ゆりかご面接」をスタートさせました。

「ゆりかご面接」とは、元気創造プラザの三鷹市総合保健センターにおいて、保健師や助産師等の専門職が妊婦さんと面接するものです。具体的には、妊娠中の過ごし方や赤ちゃんが産まれてからの生活を想像しながら、赤ちゃんを迎えるための準備やこれから起こる生活や心身の変化について一緒に考え、妊婦さんが抱える不安や悩みについて丁寧に相談に応じています。その際、心身の不調など特別な支援が必要な場合には、ご本人と一緒に

個々の事情に応じた支援プランを作成し、医療機関への同行受診や、家庭訪問を継続するなど、安心して出産・子育てができるよう切れ目なく支援しています。



「ゆりかご面接」を受けた方と語り合う清原市長 (平成28年8月)

平成29年4月には、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの1階に子ども発達支援センターを、2階に総合保健センターを開設しました。子ども発達支援センター内の「親子ひろばひよこ」では、子育てに関する相談に保育士や子育てサポーターが対応しています。2つのセンターが連携して、ワンストップの相談窓口となる「子育て世代包括支援センター」としての機能を発揮するとともに、関係機関とのネットワークにより、特別な支援を必要とするご家庭を含むすべての子どもと子育て家庭を支援していきます。



WBPMマーク

ゆりかご・スマイル
～みたか子育て応援ナビ～の画面

また、「子育てガイド」による市内の子育て支援情報の積極的な発信を行い、7月からは、スマートフォンで予防接種のスケジュール管理などができる母子保健モバイルサービス「ゆりかご・スマイル～みたか子育て応援ナビ～」を開始して、子育てに感じる負担を少しでも軽減できるように保護者の皆様に支援していきます。

子どもたちの笑顔と健やかな育ちは、ご家族だけではなく、周りにいる私たちにも幸せを与えてくれます。「ゆりかご面接」から始まる「ウェルカム ベビー プロジェクト みたか」を通して、これからも誰もが「安心して子育てできるまち三鷹」の実現を目指して、市民や関係機関との協働を進めていきます。